

目標達成計画

作成日：平成 22年 6月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	代表と職員は同じ理念のもと、利用者本位の支援に努めているが、その手段や考えに相違がある場合は第三者を交えるなどして互いの理解に努めることが望まれる。	ミーティングや普段の会話からも多数の意見が出るようにする。職員全体がディスカッションができるようになる。	毎月のミーティングの中に代表と職員が多くの意見が出るような雰囲気作りに心掛ける。	12ヶ月
2	4	年6回の開催が省令でも定められており運営推進会議は、2ヶ月に1度開催実施される事が望まれる。	今後は定期的の運営推進会議を開き、情報や意見の交換を求め、介護サービスに活かしていく。	運営推進会議を定期的に2ヶ月に1度に行い、各委員との交流を深め、助言を求めていく。議事録をきちんと把握した上でスタッフ間の話し合いを行う。	12ヶ月
3	35	年に1度は消防署、地域の方々との災害訓練を実施し、課題の抽出から次回の訓練に繋げることを期待したい。	避難訓練マニュアルをしっかりと把握し、利用者が避難できる方法を全職員が身につける。	出来る限り毎月自主的避難訓練を行う。マニュアルを目につくように設置し、各自が随時目を通し把握できるように努める。消火器のある場所を各自が把握する。	12ヶ月
4	33	職員の看取りに対する不安を軽減し、支援できるよう、職員研修の実施と医療機関との密な連携体制の確立が望まれる。	医療機関とホームが安心できる体制を構築する。終末期には家族との協力と理解を得る。	普段から家族とのコミュニケーションをはかり、終末期への理解を求め。職員間での密な情報交換を行う。職員の看取り研修への参加。医師と職員との綿密な情報交換と対応の指示の伝達をきちんと行う。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。